

## 第1章 調査について

本市の図書館活動の指針となる「吹田市立図書館基本構想」は、平成25年(2013年)に策定してから10年が経過しました。課題であった図書館未設置地域は解消し、中央図書館の耐震改修工事も完了しました。狭あい施設(江坂図書館、北千里分室)解消の取組も進んでおり、ハード面の整備は概ね完了しています。次は国・社会の動向や図書館の現状と課題を踏まえ、今後10年間の図書館のソフト事業をどのように展開していくか、図書館活動の指針となる「(仮称)吹田市立図書館サービス基本計画」の策定を予定しています。

本アンケートは、その計画の策定にあたり、市民の図書館に関わる意識を基礎的な資料とするため実施しました。

## 第2章 調査の概要

### (1) 調査対象者と配布数

調査対象：市内に居住している満18歳以上の市民

市民配布数：市民2500票

抽出方法：市民は年齢階層別ランダムサンプリング(住民基本台帳を使用)

### (2) 調査実施方法

郵便による配布・回収(あわせてインターネットでの回答も実施しました。)

※市立図書館の来館者にも同調査を実施

第6章(1)「吹田市立図書館に関する来館者アンケート調査報告書」参照

### (3) 調査実施期間

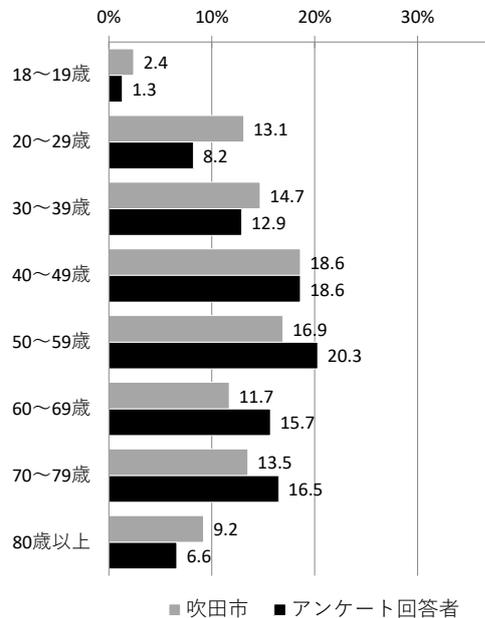
令和3年(2021年)8月3日(火)～令和3年8月18日(水)

### (4) 調査票の回収

回収数：市民1438票 有効回収率：市民57.5%(1438票/2500票)

## (5) アンケート回答者と吹田市人口の年齢構成

アンケート回答者の年齢構成と吹田市人口の年齢構成（令和3年6月末）を比較すると、以下のとおりです。一部年齢層で差異がみられます。



## 第3章 報告書の見方

- ・ 図中の「合計」には、「無回答（回答なし）」を含んでいます。
- ・ 図及び表の“N”は、各設問における母数を表しています。クロス集計の場合の“N”は、項目ごとに構成比を算出するために用いる母数です。
- ・ 百分比（%）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、四捨五入の結果、比率の合計が100%と一致しないことがあります。
- ・ 百分比（%）の0.0%の数値はグラフに表示していません。
- ・ 年齢層別等のクロス集計の合計には「無回答」を含みます。